

### 港北区のあゆみ

- 昭和14年 港北区誕生（現在の港北区、緑区、青葉区、都筑区をあわせた区域で、人口は約5万人）
- 昭和39年 東海道新幹線の開通に伴い新横浜駅が開業
- 昭和44年 緑区（現在の緑区、青葉区及び都筑区の一部）を分区
- 昭和53年 区新総合庁舎が現在地に開設
- 昭和60年 横浜―新横浜間で市営地下鉄開通
- 平成元年 横浜アリーナがオープン
- 平成5年 新横浜―あざみ野間で市営地下鉄開通
- 平成6年 一部を都筑区に編入、現在の港北区となる
- 平成10年 横浜国際総合競技場（日産スタジアム）が開業
- 平成15年 鶴見川多目的遊水地（新横浜公園）運用開始
- 平成20年 市営地下鉄グリーンライン開通
- 平成31年 区制80周年



### 区内のみどころ

#### ■新横浜公園

MAP 10-D

市内最大の運動公園で鶴見川多目的遊水地も兼ねています。公園内には、陸上競技やサッカーなどの国際大会が開催できる日産スタジアム（横浜国際総合競技場）、野球場、テニスコートのほか、遊具広場やドッグランなどのレクリエーション施設もあります。また、メドウガーデンなど生き物の生息空間も持ち合わせた多目的な公園です。



横浜国際総合競技場

#### ■横浜国際総合競技場（日産スタジアム）

MAP 10-D

国内最大の観客収容数（72,327席）を誇る屋外多目的競技場で、Jリーグの横浜F・マリノスのホームスタジアムです。ラグビーワールドカップ2019™の決勝と準決勝を含む6試合が開催されました。また、同地で東京2020オリンピックのサッカー競技が実施される予定です。

▲ JR小机駅より徒歩7分／新横浜駅より徒歩14分



横浜アリーナ

#### ■横浜アリーナ

MAP 10-F

平成元年に市政100周年記念施設として開業、平成28年にリニューアルした多目的イベントホールです。コンサートやスポーツイベントのほか、市の成人式が開催されます。

▲ 市営地下鉄ブルーライン新横浜駅より徒歩4分

#### ■横浜市大倉山記念館【横浜市指定有形文化財】

MAP 8-H

昭和7年に大倉精神文化研究所の本館として創設された後、昭和56年に市が寄贈を受けました。開館以来、市民活動や映画・テレビのロケ地として親しまれています。

▲ 東急東横線大倉山駅より徒歩7分



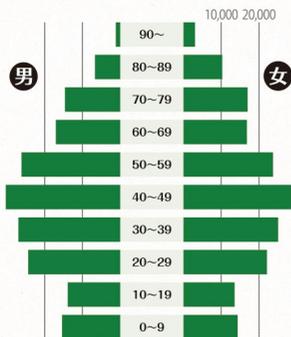
横浜市大倉山記念館

### 港北区の統計

人口 **356,368** 人  
（市内1位）  
（令和2年9月1日現在）



世帯数 **173,189** 世帯  
（市内1位）  
（令和2年9月1日現在）



平均年齢 **43.63** 歳  
（令和2年1月1日現在）

面積 **31.37** km<sup>2</sup>  
（市内5位）

人口密度 **11,360** 人/km<sup>2</sup>  
（市内3位）

市の北東部に位置する港北区。交通や買い物の利便性のよさや自然が多く住みやすいまちとして、人気が高い地区です。



（令和2年9月1日現在）

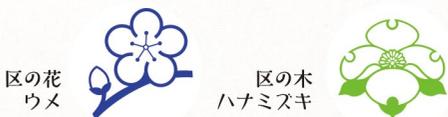
【統計情報ポータル】より

### 港北区のシンボルマーク



港 北 区

区の花はウメ、区の木はハナミズキです。平成3年に選定され、平成5年にマークが制定されました。



区の花  
ウメ

区の木  
ハナミズキ

### 港北区のキャラクター

#### 港北区ミズキー



港北区ミズキーは、区の木「ハナミズキ」の妖精です。平成21年に区制70周年を記念して誕生しました。区ウェブサイトなどでデザイン等を公開しています。

港北区ミズキー

検索

### お花見のできる公園

#### 太尾堤緑道

MAP 8-F

新横浜から鶴見川に伸びる太尾新道沿いの緑道では、春には美しい桜並木が楽しめます。

- 大倉山7-40-1 市営地下鉄新羽駅より徒歩15分／市営バス「港北土木事務所前」「太尾小学校前」下車



#### 大倉山公園

MAP 8-H

大倉山記念館の奥にある梅林では、「白加賀」「豊後」など多数の梅が咲き誇ります。毎年観梅会が開催されます。

- 大倉山2-10 東急東横線大倉山駅より徒歩7分



#### 綱島公園

MAP 5-I

丘の上の広場を中心に多数の桜が見事に咲き誇ります。綱島桜まつりも開催されます。

- 綱島台1 東急東横線綱島駅より徒歩8分



#### 菊名桜山公園

MAP 11-I

市内で数々の八重桜の名所であるとともに、地域に残る貴重な緑の丘となっています。

- 菊名3-11 JR・東急東横線菊名駅徒歩10分／バス「菊名老人センター前」より徒歩2分

